

## (2) その他

### イ コレクション展【第Ⅱ期】の開催について

#### 開催要項

#### 1. 展覧会名

コレクション展第Ⅱ期

## 描かれたこども／平和への想い

#### 2. 基本情報

会期：2022年7月27日（水）－10月7日（金）

開館時間：9時－17時（入館は閉館の30分前まで／7月30日（土）は10時から開館／8月26日（金）、9月23日（金・祝）は19時まで開館）

休館日：月曜日（祝日の場合は翌平日）

会場：東広島市立美術館 2階展示室 B

観覧料：一般 300（240）円、大学生 200（160）円\*、高校生以下無料\*

後期高齢者医療被保険者証・身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の交付を受けられている方は、無料でご観覧いただけますので、受付で各手帳等をご提示下さい。（スマートフォンアプリ「ミライロ ID」も利用可能）

主催：東広島市立美術館

#### 3. 内容

コレクション展第Ⅱ期は「描かれたこども／平和への想い」と題し、7月30日から開催される第35回現代絵本作家原画展に関連した“こども”と“平和”というテーマをもとに、絵画や版画、陶芸、写真まで多彩な当館コレクションを2章構成で展示する。

未来を担うエネルギーに満ちた存在である“こども”をモチーフにした作品や、郷土ゆかりの作家による戦争や原爆、広島を題材に制作された作品を展示することによって、新型コロナウイルス感染拡大や戦争など危機に直面している今、私たち自身が平和な未来を形作っていくことについて、改めて想いを巡らせる機会とする。

#### 4. 展示構成

##### 第1章「描かれたこども」

これからの未来を担うエネルギーに満ちた存在であり、また誰もがそうであった“こども”をモチーフとした作品を展示するとともに、「はじめてビジュツカン」や「出前美術館」、対話型鑑賞事業などの教育普及活動を通じた東広島市立美術館とこどもたちの関りも関連作品とパネルによって紹介する。

展示作家：野田哲也、小作青史、相笠昌義、南薫造、谷中安規、友安一成、福井良之助、永瀬義郎、堀研、吹田文明、徳力富吉郎、遠藤彰子

## 開催要項

### 第2章「平和への思い」

当館コレクションの柱のひとつである「郷土ゆかり」の作家のなかでも、特に戦争や原爆を経験した殿敷侃や入野忠芳などの作品を中心に紹介し、併せて現在の広島を表現した藤岡亜弥などの作品までを展示することで、平和について考える機会とする。

展示作家：殿敷侃、入野忠芳、今井政之、宮川啓五、藤岡亜弥、宇佐美雅浩

### 5. 関連イベント

#### (1) 担当学芸員によるギャラリートーク

8月26日(金) 18時～18時30分

会場：2階展示室(要観覧券・申込不要)

#### (2) みんなで作品鑑賞会

9月10日(土) 10時30分～11時30分

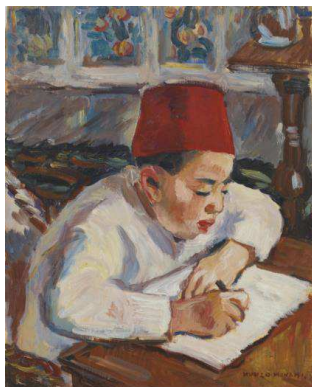
会場：2階展示室(要観覧券・申込不要)

講師：金本美貴(西条中学校教諭)

対象：小学生以上(小学生は保護者同伴／一般見学可)

### 6. 主な展示作品(予定)

#### 【第1章】



左から：野田哲也《日記 1977年8月19日》1977年／南薫造《不詳(陽造)》制作年不詳  
／友安一成《母子像》2008年

【第2章】



左から：入野忠芳《波動 80-5》1980年、宮川啓五《燭影（古保利薬師）》1981年  
藤岡亜弥『川はゆく』より 2017年